

科 目 名
生化学Ⅱ（生命情報科学）
Biochemistry II
(Physiological Biochemistry)

2年 前期 2単位 必修

上田 直子・森 正敬

授業概要・目標

生化学Iに引き続き、代謝（脂質、アミノ酸、ヌクレオチド）についての講義を行う。また、DNAからタンパク質への遺伝情報の流れと遺伝子発現調節機構、DNA複製・修復など分子生物学の基礎についての知識を学ぶ。

授業形式

適宜プリントやパワーポイント等の資料を用いた、講義形式で行う。

授業計画

- | | |
|---|--|
| 1. 脂質代謝 I (森)
2. 脂質代謝 II (森)
3. 脂質代謝 III (森)
4. アミノ酸代謝 I (森)
5. アミノ酸代謝 II (森)
6. アミノ酸代謝 III (森)
7. ポルフィリン・ヘム代謝 (森)
8. ヌクレオチド代謝 (上田)
9. 核酸の構造と性質 I (上田)
10. 核酸の構造と性質 II (上田)
11. 遺伝子の発現調節 I (上田) | 脂肪酸合成、脂肪酸 β 酸化、ケトン体、不飽和脂肪酸
脂質の輸送、リボタンパク質、高コレステロール血症
コレステロール合成、コレステロール分解、胆汁酸
アミノ基転移反応、アミノ酸とケト酸、尿路回路、窒素平衡
アミノ酸の炭素骨格の代謝、糖新生との関係
特殊分子の合成、カテコールアミン、クレアチニン酸、セロトニン
テトラピロール、ポルフィリン、ヘム、ヘム分解、ビリルビン、ポルフィリア
ブリン、ピリミジンの代謝（合成と分解）
DNAの構造と機能、ゲノム、染色体の構造
RNAの種類、RNAの構造と機能、機能性RNA
セントラルドグマ、原核生物、真核生物の遺伝子発現調節機構、遺伝子の構造に関する基本用語
遺伝子の転写、プロセシング、翻訳の分子機構、リボソームの構造と機能、翻訳後修飾
DNA複製の分子機構
突然変異、DNA修復機構、8～13の総括まとめ |
| 12. 遺伝子の発現調節 II (上田)
13. DNA複製 (上田)
14. DNA修復・総合討論 (上田) | |

到達目標レベル

C9 生命をミクロに理解する

- (1) 細胞を構成する分子

【脂質】

- 3) 脂肪酸の生合成経路を説明できる。
4) コレステロールの生合成経路と代謝を説明できる。

【アミノ酸】

- 2) アミノ酸分子中の炭素および窒素の代謝について説明できる。

- (2) 生命情報を担う遺伝子

【ヌクレオチドと核酸】

- 1) 核酸塩基の代謝（生合成と分解）を説明できる。
2) DNAの構造について説明できる。
3) RNAの構造について説明できる。

【遺伝情報を担う分子】

- 1) 遺伝子発現に関するセントラルドグマについて概説できる。
2) DNA鎖とRNA鎖の類似点と相違点を説明できる。
3) ゲノムと遺伝子の関係を説明できる。
4) 染色体の構造を説明できる。
5) 遺伝子の構造に関する基本用語（プロモーター、エンハンサー、エキソン、イントロンなど）を説明できる。
6) RNAの種類と働きについて説明できる。

【転写と翻訳のメカニズム】

- 1) DNAからRNAへの転写について説明できる。
2) 転写の調節について例を挙げて説明できる。
3) RNAのプロセシングについて説明できる。
4) RNAからタンパク質への翻訳の過程について説明できる。
5) リボソームの構造と機能について説明できる。

【遺伝子の複製・変異・修復】

- 1) DNAの複製の過程について説明できる。
2) 遺伝子の変異（突然変異）について説明できる。
3) DNAの修復過程について説明できる。

- (3) 生命活動を担うタンパク質

【酵素以外の機能タンパク質】

- 3) 血漿リボタンパク質の種類と機能を概説できる。

他科目との関連

生化学Iと併せて、生化学、分子生物学の基礎を学ぶ。細胞生物学、機能形態学と補完しあう。また、薬理学、衛生薬学などの基礎となる。

評価方法

出席状況、小テストなどを考慮し、前半分についての中間試験（時間外で行う）は、定期試験と同等に扱う。中間試験、定期試験、それぞれともに合格点に達した者を合格とする。

教 材

教科書：イラストレイティッド・ハーバー生化学（R. E. Murray 他著、上代淑人 監訳）丸善

参考図書：1. 基礎薬学II（青木）薬学ゼミナール

2. NEW 生化学 第2版（編集 堅田利明、菅原一幸、富田基郎）廣川書店

3. 図解 基礎生化学（池田和正 著）Ohmusha

4. 生化学（マシューズ 他著、清水孝雄 他訳）西村書店